

6月5日（日）総体予選三回戦

世田谷総合 37 - 76 東大和南

【試合レポート】

- 1Q 東大和南はマンツーマンでスタート。世田谷総合は2-2-1ゾーンプレスで序盤から仕掛ける。3ポイントが決まるなど、効果的に得点し、序盤は競った試合展開になる。
- 2Q 世田谷総合は2-1-2ゾーンでこらえるも、東大和南が徐々に対応し始め、一気に差を広げる。世田谷総合はゴールに近い所まで攻め込むことができず、点が伸びない。
- 3Q 世田谷総合はマンツーマンに切り替え、何とかしのぐも、東大和南が力の差を見せつけ、さらに点差を広げていく。
- 4Q 世田谷総合はマンツーマンとゾーンプレスをうまく組み合わせる。3年生が意地を見せ、このクォーターはリードを奪うも、反撃はここまで。中盤の差が埋まらず試合終了。



.....

シードをかけた大一番。相手は新人大会ベスト16の強豪、東大和南でした。序盤は競った展開に持ち込めたのですが、一試合通じての地力の差が出た結果となりました。この試合で3年生は引退となりました。ここまでよく頑張ってくれました。すべて出し切って、後悔のない結果だったと思います。コロナ禍で活動の難しい時代を過ごしてきた3年生が、今日までしっかりとバトンをつないでくれました。これからは、OGとして次の世代の成長を見守りながら、世田総女バスの発展のために一緒にサポートをお願いします！3年生のみんな！お疲れさまでした！本当にありがとう！

(顧問：寺崎)

